

# 平成30年度 特別養護老人ホーム 土肥ホーム 事業報告

## 1. 概況報告

今期の土肥ホーム特養の概況としては、特養利用者の重度化による死亡退所又は医療機関への転院など、年間16件の入退所変動があった。特養待機待ちの状況から特養へ入居した時点で既に医療を必要とするケースが多く、入居しても間もなく退去に至る状況も多くあり、入院の状況になり長期間の療養が必要なケースが多く、安定的なベッド稼働の維持には至らなかった。

在宅サービスでは地域高齢者の暮らしを支える新たな介護サービスの提供を模索していたが、介護職員の体調不良、療養等の危機的な介護人材不足の問題により今後の事業展開と継続を見据え、デイサービス稼働日及び定員減少をせざるを得ない状況に至った。

一方、慢性的な介護人材不足の課題は地域のシルバー世代を雇用し、間接的な介護業務を行うことで、介護職員がより専門的な介護業務に特化できる体制をつくり、介護業務のすみわけを行い、介護現場の人材不足の解消に繋げた。

また、人材育成に関する次世代リーダー層の育成は組織における推進力、スキルアップ向上を目的とし、全5回のプログラム研修を実施し、次年度も継続し育成にむけ推進する事とした。

経営面では中長期計画に基づいた建物設備の更新を実施し、サービス稼働の減少により収入の影響の煽りを受けたが、費用面は予算内執行に留まるよう効率的な経営に努めた。

### (1) 各事業

#### ①特養（介護老人福祉施設）

入居者の体調悪化と重度化による入院期間が長期化し、空きベッド転用も不調であった。今後も医療・看護・介護連携の強化と統一された処遇が課題である。介護業務軽減では介護サポーターの業務転換と法人サービス推進会議による法人スケールメリットを活かしたスキルや活用事例などの情報を得て、介護機材の見直しと導入に至った。

#### ②ショートステイ

余暇活動の充実を目指し、体力向上や機能訓練の充実などプログラムの改善を図った。また個別事情に特化した自費サービスの創出として、サービスが気軽に利用できるよう「手ぶらでショートステイ」を試験的に行った。

#### ③デイサービス

重度化防止と自立支援に向けたプログラムの創出として、プログラム開発と新たな提供方法を実施した。この取組みにより利用者からも好評を得る事が出来、充実したサービス提供に繋げる事ができた。一方、職員人材不足により規模縮小のため2月より定員枠を下げる結果となった。

#### ④ホームヘルプサービス

職員体制に限りがあるなか、土肥戸田の派遣体制を継続する為に他部署との連携を図り、職員調整の工夫をすることで、できるだけ多様化するニーズに合わせたサービスを提供できる体制をとるよう努めた。

#### ⑤居宅介護支援事業

ケース会議や請求業務等の機会を通し、法令解釈の共通理解の統一を目指した。また入院時の情報提供シートを使用しやすく変更し、各医療機関と早期の連携に務めた。業務過多における業務整理については、モニタリング表や日誌等の見直しを行い、業務効率化に繋げた。

#### ⑥地域包括支援センター

深刻化する土肥地区の人口動向による少子高齢化の実態を、住民や関係機関に対し、様々な機会を通じ情報発信をし、地域支えあい体制作りの必要性や活動の働きかけ、また健康寿命を延ばす活動の動機付けに繋げた。また多様化する様々な相談に対し、関係機関との連携を強化し、適切な支援に繋ぐことを目指した。

#### ⑦グループホーム

認知症ケア新技術の導入や他職種との合同勉強会等を実施し技術力向上に努めた。また、介

護記録の様式変更により業務の効率化がはかれ、職員の業務改善に繋がった。定期の広報誌発行は、日常の様子やケア内容をPRすることが出来た。今後も新規入居希望者の確保に繋げるための活動にも繋げていく。

## (2) 運営管理

### ①事務

更新計画に基づき、LED照明器具更新及びトイレ改修工事を実施したが、老朽化による突発的な修繕等も相次いだ。稼動が伸び悩み、資金確保が困難な状況ではあったが、施設全体でコスト管理について情報発信するなど経営状況を周知した結果、突発的な更新にも対応することができた。人材確保については、新たにシルバー世代雇用と活躍の場を体系化した。

### ②看護

新規者問わず医療ケアを必要とする方が多く、今年度も医療・看護・介護協働による健康管理が求められた。重度化は、連携した関わりも虚しく看取り介護（9名）・医療機関への退所（7名）となった。また、施設を挙げての感染予防対策は、周囲の協力と努力により発症を防げた。

### ③食事

栄養摂取部会で利用者の健康状態を把握し、安心して安全な食事提供ができるよう、ご利用者に合った食事形態の調整、改善に努めた。また、厨房業務の煩雑化に対し、見直しを図り業務改善に繋げた。また地域に特化した、オリジナル弁当の付加サービスの創設には至らなかった。

## 2. 施設概要

平成31年3月31日現在

名称	特別養護老人ホーム	土肥ホーム	
事業内容	第1種社会福祉事業	※特別養護老人ホーム	定員 50人
	第2種社会福祉事業	※老人短期入所事業	定員 11人
		※通所介護事業 一般型（月～金）	定員 30人
		※訪問介護事業	
		※認知症対応型共同生活介護事業	定員 18人
		総合事業第1号通所事業（現行相当サービス・基準緩和サービス）	
		総合事業第1号訪問事業（現行相当サービス・基準緩和サービス）	
	その他の事業	※居宅介護支援事業	
		地域包括支援センター（伊豆市土肥支所内設置）	
		「食」の自立支援事業	
		身体障害者居宅介護等事業	
		移動支援事業	
		生活管理指導短期宿泊事業	
		生活管理指導員派遣事業	
		オリジナル弁当サービス（自主事業）	
		健康増進教室（自主事業）	
		（※印は介護保険指定事業）	
所在地	静岡県伊豆市小土肥787-2		
敷地面積	5,179.79㎡		
建物規模構造	特養	鉄筋コンクリート造3階建	3,093.17㎡
		地域交流室	木造2階建 164.16㎡
		グループホーム	鉄骨コンクリート造2階建 567.41㎡
運営開始日	特養	平成5年4月1日	
	グループホーム	平成23年4月1日	

居室タイプ別床数  
特養（ショート含む）

	個室	2床室	3床室	4床室	合計床数
1階					
2階	4	1	4	9	54
3階	7				7
合計室数	11	1	4	9	61

### 3. 施設整備状況

年 月 日	物 件 名	数量	目 的 ・ 用 途
平成30年6月15日	1階中央トイレ改修工事	1	老朽化による更新
平成30年6月16日	2階ベッドライト・1階廊下、正面玄関LED化	1	住環境・労働環境の改善整備
平成30年6月27日	土肥包括ノートパソコンリース	1	職員増員による設備整備
平成30年7月1日	特養2階・3階カーテンリース	1	老朽化による更新
平成30年7月7日	地域交流室エアコン更新工事	1	老朽化による更新
平成30年7月20日	2階居室空調機更新工事	6	老朽化による更新
平成30年8月20日	デスクトップパソコン	2	嘱託医変更による設備整備
平成30年9月1日	厨房ワゴンプール・1階相談室エアコン更新工事	2	老朽化による更新
平成30年9月4日	体圧分散式マットレスリース	10	住環境の整備
平成30年10月21日	電話機設備更新工事	1	経年による更新
平成30年10月30日	1階男子トイレ小便器取替え工事	1	老朽化による更新
平成31年2月5日	スロープ付軽自動車 フレアワゴン2WD	1	24時間テレビ福祉車輛寄贈
平成31年3月19日	土肥包括 富士通介護システム更新	1	保守期間・リース期間満了による更新

### 4. 施設の開放状況（施設の開放）

開 放 先	内 容	回 数
伊豆市特養連絡会	会議等開催	7

### 5. 職員派遣状況

派 遣 先	派 遣 者	内 容	回数
伊豆市地域包括支援センター運営協議会	福室悦子・長倉千景	伊豆市地域包括支援センター運営協議会	2
権利擁護及び虐待防止対策推進協議会	福室悦子・花沢恵子	権利擁護及び虐待防止対策推進協議会	1
静岡県介護支援専門員協会	黒川正樹・花沢恵子	介護支援専門員専門Ⅰ研修・講師	9
静岡県健康福祉部福祉長寿局介護保険課	黒川正樹	主任介護支援専門員更新研修	2
(株)アスク・ヒューマン・ケア	黒川正樹	TCコミュニケーショントレーニング講座	1
シニアクラブ静岡県	黒川正樹	単位シニアクラブ新任会長研修会	1
静岡県介護支援専門員協会東部支部	花沢恵子	静岡県介護支援専門員協会東部支部会議	2
伊豆市在宅医療連携推進協議会	花沢恵子	伊豆市在宅医療連携推進協議会	2
伊豆市長寿介護課	花沢恵子	在宅医療ワーキンググループ	6
静岡県介護支援専門員協会	花沢恵子	協力団体代表者会議	1
伊豆市健康福祉部長寿介護課	花沢恵子・中田智己	ケアプラン点検	2
伊豆市認知症施策検討会	花沢恵子	伊豆市認知症施策検討会	1
静岡県介護支援専門員協会	中田智己	介護支援専門員実務研修委員補佐	5

### 6. 施設の開放状況（ボランティアの受入状況）

団 体 名	年間回数	1回当たり平均人数	延べ人数
土肥ホーム清掃ボランティア	86	3.2	217
土肥地区民生児童委員協議会	1	20	20
伊豆総合高校 郷土芸能部演奏会	1	13	13
伊豆市土肥地区赤十字奉仕団	1	3	3
西伊豆地区郵便局婦人会	1	5	5

## 7. 研修受入状況

受入事業所	受入団体名	内 容	受入人数
ホームヘルプサービス	伊豆市生活支援担い手養成研修	援助同行	1
特養	伊豆総合高校土肥分校教諭	2年次研修	1
特養	土肥小中一貫校 8年生	中学生の福祉体験・職場体験	3
特養	土肥小中一貫校 4年生	福祉体験・交流会	22

## 8. 事業別利用状況

## (1) 特別養護老人ホーム 利用状況

①入所状況 (定員: 50人) (4月1日～3月31日)

期首在所	期中入所	期中退所	期末在籍	期中延数 外泊含まず	1日平均 在所数	在籍中 入院延数	ショート 空床利用数
50	16	16	50	17,705	48.5	506	45

②介護度別入所者数 (4月1日～3月31日)

区 分	要介護5	要介護4	要介護3	要介護2	要介護1	計	平均介護度
男	36	25	26	0	8	87	4.1
女	94	153	175	75	29	526	3.4
計	130	178	201	75	29	613	3.8

(2) ショートステイ 利用状況 (定員: 11人) (4月1日～3月31日)

区分	介 護						予 防			合計
	要介護5	要介護4	要介護3	要介護2	要介護1	小計	要支援1	要支援2	小計	
利用者延人数	300	1,170	944	1,129	543	4,086	26	56	82	4,168
	一日平均									11.4

(3) デイサービス一般型 利用状況 (定員: 30人) (4月1日～3月31日)

	要介護5	要介護4	要介護3	要介護2	要介護1	要支援2	要支援1	事業対象者	自主事業 (自費)	合計
利用者実人数	25	46	108	216	180	144	23	221	15	978
利用者延人数	120	341	880	1,889	1,464	1,027	84	930	46	6,524
開所日数	290	290	290	290	290	290	290	290	290	290
	一日平均									22.5

(4) ホームヘルプサービス 利用状況 (4月1日～3月31日)

区 分	身体介護		生活援助		身体生活		小計		総合事業		合計	
	延回数	延時間	延回数	延時間	延回数	延時間	延回数	延時間	延回数	延時間	延回数	延時間
介護保険	1,445	839:05	1,167	1,015:30	761	764:45	3,373	2,619:20	2,087	1,889:25	5,460	4,508:45
障 害	19	28:50	512	556:50	107	144:50	638	730:30	0	0:00:00	638	730:30
自 費	0	0:00	0	0:00	0	0:00	0	0:00	0	0:00	0	0:00
計	1,464	867:55	1,679	1,572:20	868	909:35	4,011	3,349:50	2,087	1,889:25	6,098	5,239:15

(5) グループホーム 利用状況

①入居状況 (定員: 18人) (4月1日～3月31日)

期首在所	期中入所	期中退所	期末在籍	期中延数 外泊含まず	1日平均 在所数	在籍中 入院延数	ショート 空床利用数
18	4	4	18	6,486	17.8	73	0

②介護度別入居者数 (4月1日～3月31日)

区分	介 護						予 防		合計
	要介護5	要介護4	要介護3	要介護2	要介護1	小計	要支援2	小計	
入居者数	0	29	87	57	45	218	0	0	218

(6) 居宅介護支援事業 給付管理状況 (4月1日～3月31日)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画件数	136	134	135	132	135	135	134	134	137	133	127	122	1,594
予防プラン受託件数(総合事業含む)	5	5	5	4	4	4	5	5	3	2	2	0	44

(7) 地域包括支援センター利用状況

①地域包括支援センター 実績状況 (マネジメント業務) (4月1日～3月31日)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防支援	29	30	33	32	29	29	28	30	31	30	31	34	366
介護予防支援(委託)	7	7	7	7	7	6	6	6	6	5	5	3	72
介護予防マネジメント	45	38	37	37	39	36	41	40	38	39	34	35	459
介護予防マネジメント(委託)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

②地域包括支援センター 実績状況 (相談業務等) (4月1日～3月31日)

相談件数・内容

内 容	件 数
介護相談	1,707
地域支援事業	1,004
介護(要介護)	42
介護(要支援)	2,228
虐待(疑いも含む)	134
その他	502

権利擁護に関する活動

内 容	件 数
成年後見人制度	67
消費者被害	21
困難事例	109
権利擁護	237
日常生活自立支援事業	6
その他	

開催実績

開 催 実 績	人 数	開 催 実 績	人 数
地域ケア個別会議	7	ロコトレOB会	1,087
家族介護者教室	127	民生委員へのロコトレ教室の啓発	25
土肥・天城湯ヶ島地区合同事例検討会	33	土肥圏域地域ネットワーク会議	51
お達者健康相談	80	介護予防推進に関わる協議体 (つくしんぼの会との井戸端会議)	45
ふれあいサロン	139		
認知症サポーター養成講座	112	ロコトレOB インボディ測定	71

(8) 配食サービス 利用状況 (4月1日～3月31日)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延 食 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
オリジナル利用実人数(自主事業)	27	26	27	28	32	31	31	29	28	29	29	28	345
延 食 数	478	514	439	458	546	544	561	494	455	435	459	454	5,837

9. 事故・苦情報告

(4月1日～3月31日)

区 分	特養	ショート	デイ一般	デイ認知	ホームヘルプ	Gホーム	小規模	ケアハウス	居宅支援	包括	配食	合計
事 故	7	1	3		0	3			0	0	0	14
苦 情	0	1	0		1	0			0	0	0	2

10. 職員常勤換算数前年対比

(3月31日現在)

	前年度末人員		当年度末人員	
	職 員 数	常勤換算数	職 員 数	常勤換算数
常 勤 職 員 数	45	45.0	47	47.0
非 常 勤 職 員 数	57	37.1	60	35.7
合 計	102	82.1	107	82.7